

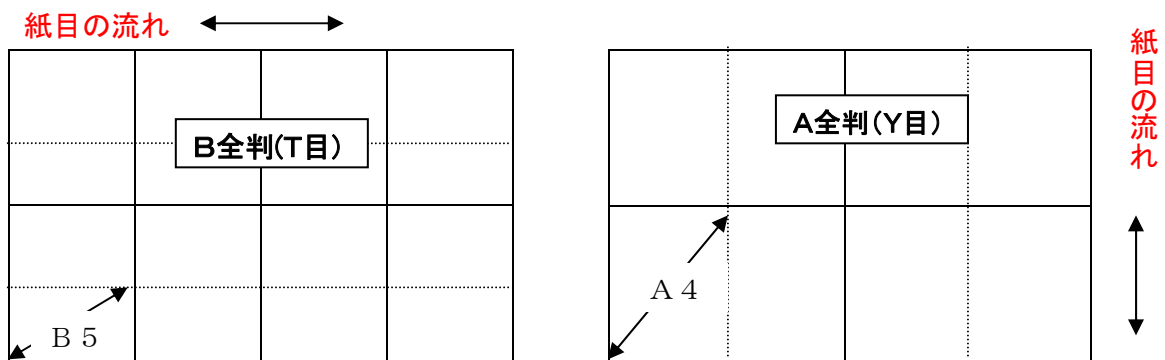
# 製本のススメ

Vol. 66

【夏】ですね～言うまいと思っけていても「暑い」と言っけてしまいます。  
しかし温暖化が取り上げられて ECO な生活を心がけようと頑張っけていますが  
やはりエアコンの温度を 28 度にはしがたい・・・どうしたら涼しく快適に過ごせるものでしょうか？

今回も**基本**の話し\*6 回目\*

今回は、紙目のお話をしましょう。製本加工では紙目にとっても注意が必要です。  
一般的に本は「背に対して平行に紙の繊維が流れるような紙の取り方をします」  
つまり背に対して縦目の本になります。横目の本は逆目と呼びページの開きが悪い本になります。全紙の用紙に印刷の場合、A5やB5のように**奇数判の場合には全紙で縦目(T目)**B6やA4のように**偶数判の場合には、全紙で横目(Y目)の用紙を使います**。但し横長本の場合には、この逆となりますので、注意してください。



紙の取り方にも五切・九切等のように「まわし取り」があり、1枚の全判からより多くの枚数を切り分ける事がありますが、実は**この取り方では製本加工には向きません**。紙は繊維方向によって伸縮がはっきり分かれる為、縦目と横目の混合では一定の品質を維持確保する事はできないのです。特に小部数の場合には残紙を使われる事も有るかと思いますが、この**紙目は絶対に軽視できない事柄の一つです**。



## Tea break

冷たいお酒が美味しい季節ですが、アルコールは体内で分解されアセトアルデヒドに変化し血流と共に脳細胞に作用して脳細胞の機能を麻痺させます。またアルコール中の二酸化炭素は脳細胞を酸欠にさせます。【酔い】とは、こうして起こる大脳皮質の機能低下つまり理性のマヒ状態を指します。でも、そんな事考えていたら楽しく吞めませんね～ほろ酔いの別世界は最高です！

暑い夜に冷えたビール \(\hat{o}\)/バンザイ

by (株)井関製本